

日本工営株式会社

2018年6月28日

日本工営 ベルギーYUSO社と共同で蓄電池活用事業の特別目的会社設立 ～ エネルギー事業を推進 蓄電プロジェクト開発に着手 ～

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、社長：有元龍一、以下「日本工営」）は、ベルギーを本拠地にアグリゲータービジネスを展開する YUSO（本社：ベルギー ワレヘム）社と協業し、特別目的会社「Ruien Energy Storage NV」を設立しました。本会社を通じて、蓄電池を活用したベルギーでの周波数調整サービスなどの共同プロジェクト開発を行います。

「Ruien Energy Storage NV」は、送電系統運用者が第三者から電力を購入する市場を持つベルギーにて、25MWの蓄電システムを新設・系統接続し、周波数を調整し電力品質を維持するアンシラリーサービスと、電力価格が低い時間帯に積極的に充電し、高い時間帯に放電することで収益を得る取引（アービトラージ）のプロジェクト開発を行います。本サービスは年内にプレエンジニアリング（設計、積算、系統連系協議等）を実施し、2020年初旬の運転開始を目指します。

日本工営は、日本工営福島事業所で独自開発した周波数変動に対応する蓄電池制御システム NK-EMSを用いて、2018年2月より英国でアンシラリーサービスを提供しています。YUSO社はベルギー、オランダ、フランスを市場としてアグリゲータービジネス※1を展開しており、周波数調整と同時に市場取引を行うノウハウを持つ企業です。本プロジェクトにおいて、日本工営は EPC、プロジェクトの保守を含む技術的なマネジメントを行い、YUSO社は蓄電システムのオペレーションを担います。本プロジェクトは、案件の開発段階から携わることにより、蓄電ビジネス構築のノウハウを得る機会となることから、日本工営のエネルギーマネジメント事業展開への重要なステップとなると考えております。

蓄電池を活用したビジネスは、技術革新とコストダウンが進み市場の急成長が見込まれ、エネルギーマネジメント事業の中核となる技術と目されています。日本工営は、アンシラリーサービスで先行する欧州で制度、技術、事業運営に係るノウハウを蓄積し、エネルギーマネジメントに関するハード・ソフト両面でのサービスおよび EPC の提供を目指します。2020年の発送電分離を前に、仮想発電所を含めた市場整備・拡大が期待される日本においても、周波数調整を含むデマンドレスポンス技術※2を高度化し、事業展開を順次進めてまいります。

※1 需要家の電力需要を集約し、省エネや節電を効果的に実現する事業

※2 需要家等の創エネ設備、蓄エネ設備、負荷設備を集約・遠隔制御し、効果的に電力供給、節電、需要創出等のエネルギーマネジメントサービスを提供

● Ruien Energy Storage NV ホームページ：<http://www.res-nv.be/>



—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : info@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>

■Ruien Energy Storage NV 概要

会社名	Ruien Energy Storage NV
所在地	ベルギー ワレヘム
事業サイト	ベルギー オースト＝フランデレン州 旧石炭火力発電所構内、電力系統変電所隣接地
事業規模	25MW/25MWh 蓄電システム
提供サービス	アンシラリーサービス (FCR: Frequency Containment Reserve) アービトラージサービス
運転開始予定	2020 年初頭

■YUSO 社について

2012 年創業。ベルギー、オランダ、フランスを中心に、主として太陽光発電などの再生可能エネルギーによる発電所 500 ヶ所以上、合計



140MW を対象にエネルギーマネジメントおよび 10MW 蓄電システムによるアンシラリーサービスならびにアービトラージを行っている。

<https://yuso.be/>